

7 - 2 元禄地震の震度分布

Intensity Distribution of Genroku Earthquake (1703.12.31)

東京大学地震研究所

宇佐美 龍夫

Tatsuo Usami

Earthquake Research Institute, the Univ. of Tokyo

元禄地震の震度分布については、既に本会報にも報告がある^{1), 2)}。1982年3月に「新修日本地震史料第二巻」が地震研究所から刊行されたが、その別巻に元禄地震の新らしい史料がまとめられている。この機会に、新らしい史料と「増訂大日本地震史料第二巻」にある史料を合せて、新たに、震度分布を求めてみた。その結果は図1～3に示されている。記号の説明は第1図の中に例示されている。とくにS, E, eはそれぞれ史料に、強地震, 大地震, 地震と記されていることを示す。こういう記述だけからは、震度をきめることが出来ない。ほかの被害記事等から震度が推定ができる場合には、その推定震度とE, S, e等の記号の両方を示してある。震度は現行の気象庁震度階級によっている。大づかみに云うとEとeの境は震度ⅣとⅢの境に当るとみてよい。

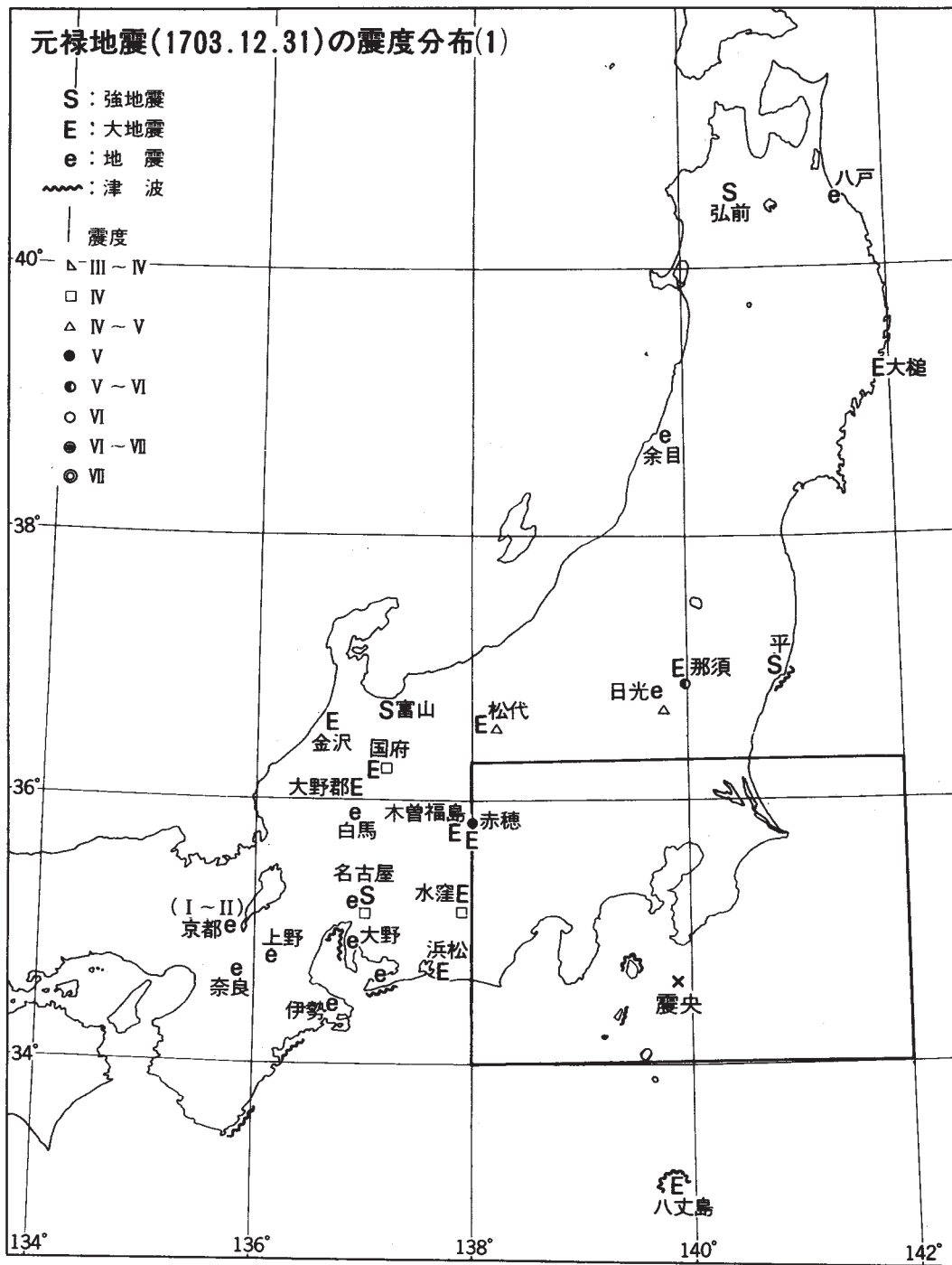
津波は、文書から襲来したことが明らかな沿岸にのみ記入した。新島の津波は「新修日本地震史料第二巻」刊行後に入手した史料による。

また、震度記号の大きさに差異があるが、その大小には意味がない。第3図に示した+, -の記号は古文書の記述から土地の隆起・沈降が明らかな所を示す。

河角の震央は野島崎南方約30 kmである。この震央を、今変更しなければならない理由は見出せない。図中に震央が記入されていないのは将来の研究に俟ちたいからである。マグニチュードの推定についても、同様に考えている。

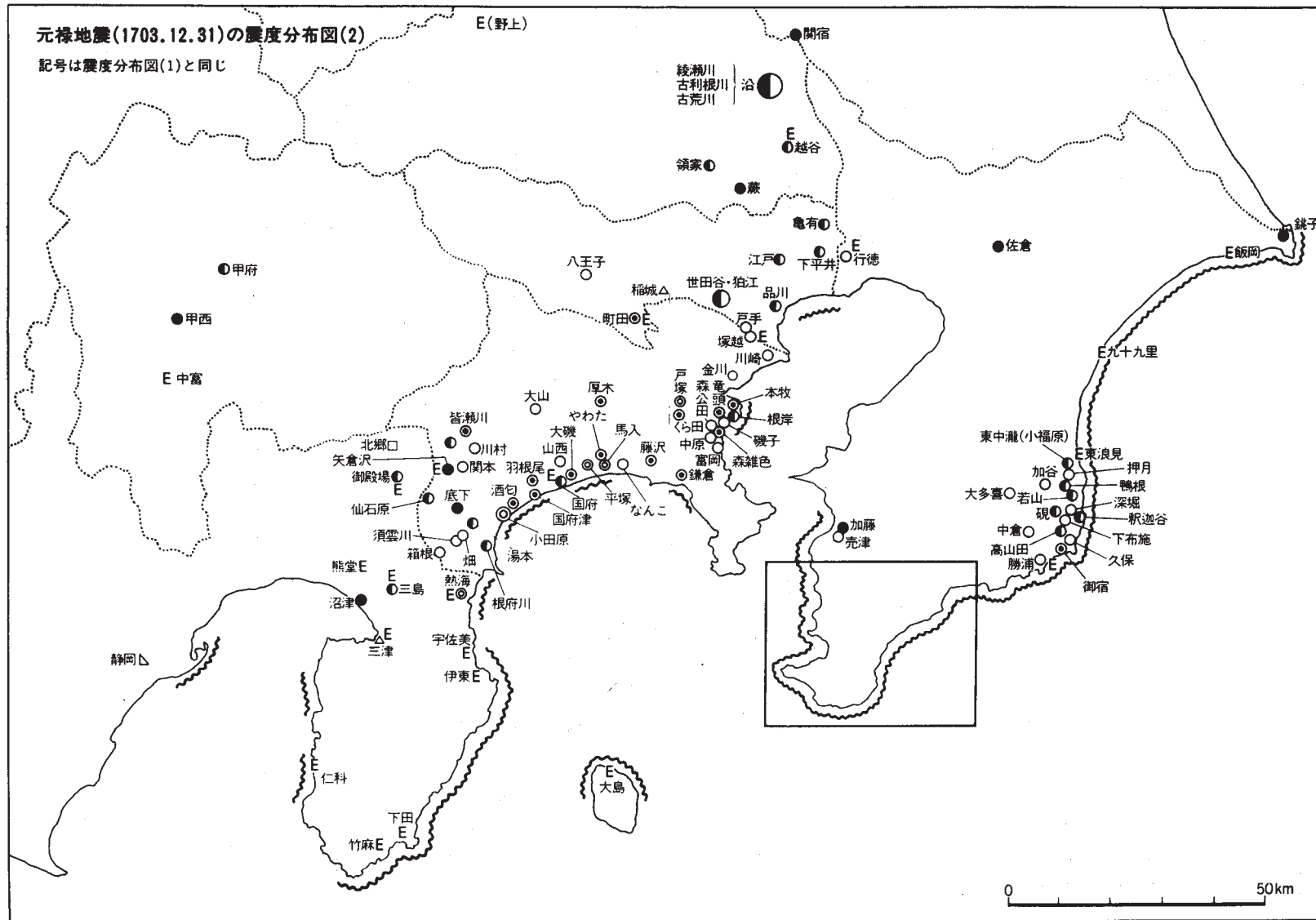
参 考 文 献

- 1) 萩原尊礼：明治27年東京地震，安政2年江戸地震，元禄16年関東地震の震度分布，連絡会報，7（1972），27 - 31.
- 2) 宇佐美龍夫：元禄地震の震度分布，連絡会報，24（1980），248 - 250.



第1図 元禄地震の震度分布図(1)

Fig. 1 Intensity Distribution of Genroku Earthquake (1).



第2図 元禄地震の震度分布図(2)

Fig. 2 Intensity Distribution of Genroku Earthquake (2).

